

雪舟ゆかりの地



涙でネズミの絵を描いた雪舟

宝福寺の小僧・雪舟は、修行もせず絵ばかり描いていた。みかねた和尚は、こらしめに雪舟を柱に縛りつけた。しばらくして和尚が縄を解きに行ってみると、1匹のネズミが今にも雪舟の足先にかじりつこうとしていた。慌てて和尚は追い払おうとするが、ネズミは一向に逃げない。不思議に思って近づくと、それは雪舟が自分の流した涙で足の指を使って描いたネズミだった。感心した和尚は以後、雪舟に絵を描くことを許したといわれている。



井山宝福寺

県指定史跡 | MAP >> D-3

雪舟が涙でネズミの絵を描いたという逸話で知られる井山宝福寺は、臨済宗東福寺派の中本山です。天正3年(1575)に起こった備中兵乱によって、三重塔や般若院など、わずかな建物を残すのみとなり、以後しばらくの間荒廃しましたが江戸時代に入り、岡山藩・浅尾藩などの力添えと歴代住職の努力によって現在にみられる姿に再興されました。仏殿や方丈などの七堂伽藍を備えた境内は、禅宗特有の趣を感じさせます。



画聖雪舟



重文 雪舟自画像(模本)
(大阪・藤田美術館所蔵)

雪舟(1420~1506)

水墨画を大成した雪舟は応永27年(1420)、備中赤浜(現総社市赤浜)に生まれ、幼少のころ宝福寺で修行。その後、京へ上り、相国寺で禅を学びながら、水墨画家の周文のもとで画業の修行にも打ち込みました。さらに、西日本で最大の守護大名である大内氏の庇護を受け山口の雲谷庵での創作活動を経て、中国(明)に渡り、水墨画を本格的に学びました。帰国後は、再び山口を拠点に各地を回り、数多くの作品を今に伝えます。永正3年(1506)、87歳で生涯を閉じました。雪舟が描いた作品のうち、「秋冬山水図」「山水図」「山水長巻」「破墨山水図」「慧可断臂図」「天橋立図」の6点が国宝に指定されています。

Sesshu



雪舟生誕地公園

MAP >> I-4

すばらしい水墨画を世に残し、画聖と讃えられる雪舟。公園内にはピクニックなどに利用できる広場のほか、雪舟の生涯や功績を学ぶことのできる展示・交流施設や室町時代を感じられる家屋などがあり、郷土の誇りである雪舟に親しむことができます。

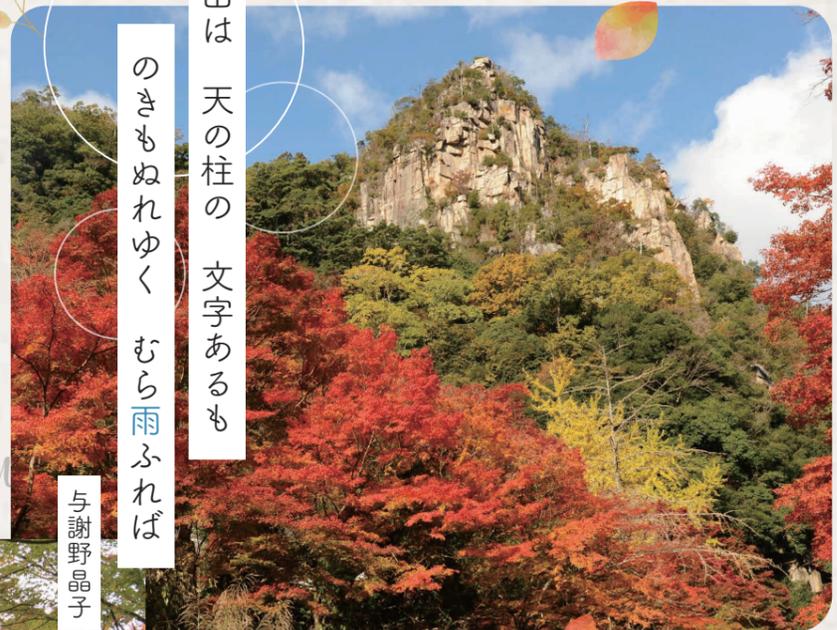
>>> DATA

- 時 9:00 ~ 17:00
休 年末年始(12/29 ~ 1/3)
料 無料
TEL 0866-90-2025
赤浜 2025

岩山は 天の柱の 文字あるも

のきもぬれゆく むら雨ふれば

与謝野晶子



名勝豪溪

国指定名勝 | MAP >> 広域

高梁川の支流、榎谷川の上流にある溪谷です。温和な風土の総社地方の中でも異なった趣です。溪谷には、江戸時代末期、備前吉永出身の漢詩人で医者でもあった武元登々庵書の「天柱」の二字を刻んだ天柱峰をはじめ、剣峰、雲梯峰、盒子岩などの花崗岩のきりたったげや石柱が榎谷川の溪流の両岸に群立しています。これらの岩石美と清流・紅葉の調和が壮大な自然美を造り出す景勝の地です。

国指定重要文化財

